

## エソール広島の活動状況の検証について

〔 令和2年6月19日  
人権男女共同参画課 〕

エソール広島の令和元年度の活動状況について取りまとめを行い、その内容について検証する。

### 1 エソール広島の利用状況

#### (1) 利用者数

利用者数は、令和2年3月末現在で20,322人となっており、令和元年度の目標である20,000人は達成した。利用内訳は下表のとおりであるが、全体の約8割は研修室等の利用で、残りの2割は情報収集等のためのフリースペースの利用によるものである。

区分		平成28年度	令和元年度実績	令和元年度目標
利用者数		10,563人	20,322人 (100.0%)	20,000人
内 訳	研修室・交流スペース利用	—	15,719人 (77.3%)	—
	図書の貸出しや情報収集等での利用(フリースペース利用)	—	4,603人 (22.7%)	—
(参考)外部施設で開催した財団主催 又は共催の講座等の参加者数		—	4,519人	—

#### (2) 研修室及び交流スペースの稼働率

##### ① 全体の稼働率

研修等の目的のため、研修室または交流スペースが利用された日は年間260日であり、稼働率は72.8%となっている。

開館日数 (A)	研修等の目的で利用された日数 (B)	稼働率 (B/A)
357日	260日	72.8%
(333日)	(253日)	(76.0%)

※下段( )内は、新型コロナウイルスの蔓延防止のため利用自粛要請を行った3月8日から3月31日までの間(24日間)を除いた数値

## ② 研修室、交流スペース別の稼働率

「研修室」の稼働率（研修室2室の平均）は、昼間の利用については平日 45.0%、土日 53.2%であるが、夜間の利用については平日 12.5%、土日 4.5%と低くなっており、全体で平均すると 35.0%にとどまっている。

また、簡易な仕切りで区切られている「交流スペース」の稼働率は、昼間の利用については平日 10.7%、土日 32.2%、夜間の利用については平日 3.9%、土日 1.0%となっており、研修室より利用が少ない傾向にある。

それらは、利用人数単位の稼働率でも、同様の傾向にある。

なお、研修室の利用状況をみると、研修会や講演会などの利用のほか、女性団体の役員会や打ち合わせ等の少人数の利用も含まれており、研修室1室当りの利用人数の平均は 15.8 人/回となっている。

### 【研修室単位の稼働率】

区分	昼間						夜間		合計
	平日			土日			平日	土日	
	午前	午後	計	午前	午後	計			
研修室	43.2%	46.9%	45.0%	49.5%	56.9%	53.2%	12.5%	4.5%	35.0%
交流S	9.4%	12.1%	10.7%	26.7%	37.6%	32.2%	3.9%	1.0%	12.2%

※新型コロナウイルスの蔓延防止のため利用自粛要請を行った期間であっても、利用可能として算出した数値（次の表において同じ。）

### 【利用人数単位の稼働率】

区分	昼間						夜間		合計
	平日			土日			平日	土日	
	午前	午後	計	午前	午後	計			
研修室	27.2%	27.2%	27.2%	34.7%	37.3%	36.0%	11.8%	3.8%	23.0%
交流S	6.5%	7.5%	7.0%	23.6%	28.0%	25.8%	3.0%	0.8%	9.0%

※利用人数単位の稼働率の算定に当たっては、利用実態を考慮して研修室1室当り 30 人、交流スペース1室当り 10 人を標準値として算定している。

### (3) 研修室及び交流スペースの利用状況の分析

#### ① 団体区分別・利用形態別の利用人数

団体区分別でみると、女性団体（構成員の過半数が女性で男女共同参画や女性活躍に資する活動を行っている団体をいう。以下同じ。）の利用が 38.3%，企業・NPO が 26.4%，行政が 25.4%となっている。

利用形態別でみると、全体では講座・研修での利用が最も多く 50.2%となっている。また、これを団体区分別にみると、女性団体は、講座・研修、交流会、会議・打合せの各区分で比較的均等に利用されているが、企業・NPOは講座・研修での利用が約 6割となっている。

区 分	利用人数 (割合)	利用形態		
		講座・研修	交流会	会議・打合せ
女性団体	6,022 人 [38.3%] (100.0%)	2,315 人 (38.4%)	1,461 人 (24.3%)	2,246 人 (37.3%)
企業・NPO等	4,143 人 [26.4%] (100.0%)	2,407 人 (58.1%)	738 人 (17.8%)	998 人 (24.1%)
行政	3,997 人 [25.4%] (100.0%)	2,029 人 (50.8%)	777 人 (19.4%)	1,191 人 (29.8%)
男女共同参画財団 (主催事業)	1,557 人 [9.9%] (100.0%)	1,138 人 (73.1%)	297 人 (19.1%)	122 人 (7.8%)
合 計	15,719 人 [100.0%] (100.0%)	7,889 人 (50.2%)	3,273 人 (20.8%)	4,557 人 (29.0%)

#### ② 利用回数区分別の利用状況

3回以上利用している団体は 39 団体と全体の 27.1%であり、これを利用人数で見れば 10,476 人と全体利用人数（15,719 人）の約 3分の2となっている。また、利用実態としては、起業支援や子育て支援、資格取得支援などの連続講座の開催などで、利用している団体がみられる。（単位：団体）

区 分	団体数計	団体区分		
		女性団体	企業・NPO等	行政
10回以上	8	6	0	1
5～9回	13	9	4	0
3～4回	18	10	6	2
3回以上計	39	25	10	3
全利用団体数	144	69	52	21
3回以上の比率	27.1%	36.2%	19.2%	14.3%

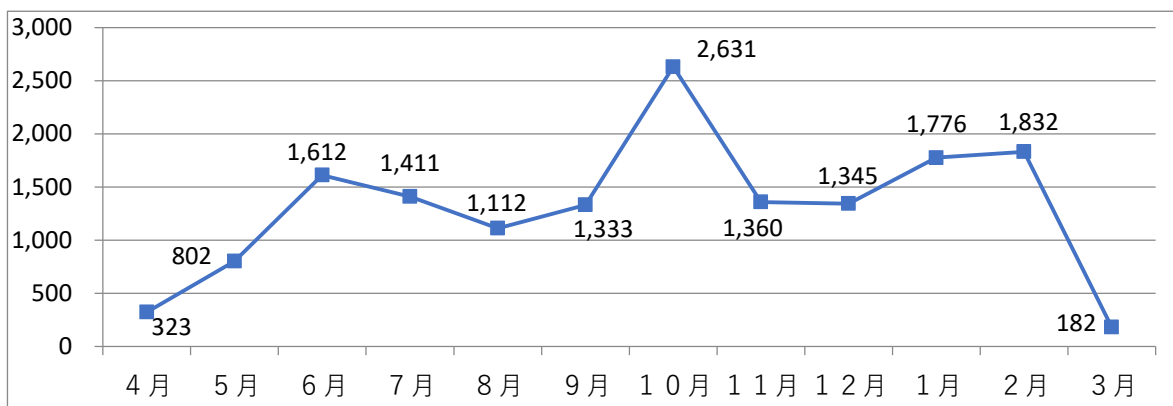
区 分	利用人数 (割合)	利用形態		
		講座・研修	交流会	会議・打合せ
3回以上利用している団体の利用人数	10,476 人	5,763 人	2,147 人	2,566 人

### ③ 月別の利用状況

6月以降は、利用者数は概ね、1,300人から1,800人の間で推移している。また、10月は大規模なイベント等が開催されたことから2,500人を超えている。

一方、4～5月は、利用促進活動の浸透不足から、利用人数が低迷し、3月は、コロナウイルス感染症の蔓延防止のための利用自粛の影響により利用人数が急激に減少した。

(単位：人)



### ④ 平日・土日別の利用状況

平日の昼間の利用は8,636人(54.9%)となっており、利用形態としては中国・四国地区の研修会などの「講座・研修」が、団体区分では「女性団体」と「行政」の利用割合が高い。

また、平成31年4月29日から開館時間の拡大を図った平日夜間の利用は1,962人(12.5%)となっており、利用形態としては、働く女性の異業種交流会や勉強会などの「交流会」が、団体区分別では「企業・NPO等」の利用割合が高い。

次に、土日の昼間の利用は4,873人(31.0%)となっており、利用形態としては、ファシリテーター等の技術習得やキャリアコンサルタント等の資格取得を目指す研修会などの「講座・研修」が、団体区分別では「企業・NPO」と「女性団体」の利用の割合が高い。

一方、土日の夜間の利用は248人(1.6%)とほとんど利用がない状況であった。

#### 【利用形態別の利用状況】

区 分		利用人数 (割合)	利用形態		
			講座・研修	交流会	会議・打合せ
平日	昼間	8,636人 (54.9%)	3,988人 (25.4%)	2,166人 (13.8%)	2,482人 (15.8%)
	夜間	1,962人 (12.5%)	970人 (6.2%)	674人 (4.3%)	318人 (2.0%)
土日	昼間	4,873人 (31.0%)	2,749人 (17.5%)	429人 (2.7%)	1,695人 (10.8%)
	夜間	248人 (1.6%)	182人 (1.2%)	4人 (0.0%)	62人 (0.4%)
合 計		15,719人 (100.0%)	7,889人 (50.2%)	3,273人 (20.8%)	4,557人 (29.0%)

【団体区分別の利用状況】

区 分		利用人数 (割合)	団体区分			
			女性団体	企業・NPO等	行政	男女共同参画 財団(主催事業)
平日	昼間	8,636人 (54.9%)	3,573人 (22.7%)	879人 (5.6%)	3,421人 (21.8%)	763人 (4.9%)
	夜間	1,962人 (12.5%)	588人 (3.7%)	843人 (5.4%)	366人 (2.3%)	165人 (1.0%)
土日	昼間	4,873人 (31.0%)	1,781人 (11.3%)	2,277人 (14.5%)	210人 (1.3%)	605人 (3.8%)
	夜間	248人 (1.6%)	80人 (0.5%)	144人 (0.9%)	—	24人 (0.2%)
合 計		15,719人 (100.0%)	6,022人 (38.3%)	4,143人 (26.4%)	3,997人 (25.4%)	1,557人 (9.9%)

○平成31年4月29日から拡大

【開館時間の拡大】

9:30~18:00 ⇒ 9:30~21:00

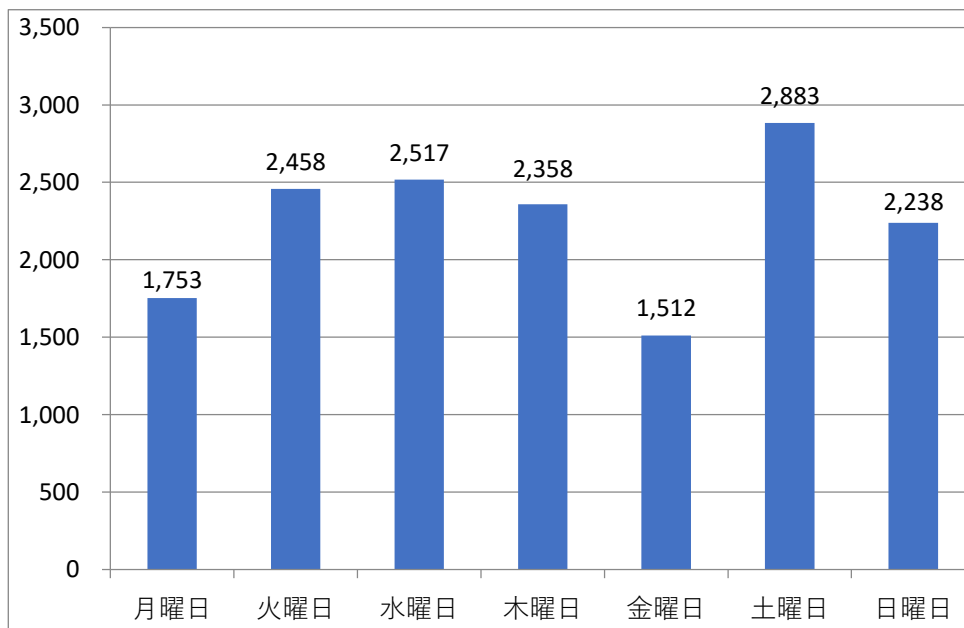
【開館日の拡大】

年間280日 ⇒ 年間359日(年末年始を除き開館)

※従前の閉館日：毎週水曜日，第3日曜日，祝日，年末年始

⑤ 曜日別の利用状況

土曜日の利用が2,883人(18.3%)と最も多くなっている。反面，平日は，月曜日や金曜日の利用が低調になっている。(単位：人)



#### (4) 登録団体の利用状況

男女共同参画の推進を目的として、エソール広島を利用して活動する団体として、令和2年3月末現在で40団体が登録されている。

##### ① 登録団体の状況

区 分	団体数
公益社団法人	1 団体
一般社団法人・一般財団法人	6 団体
NPO法人	6 団体
その他任意団体等	27 団体
計	40 団体

##### ② 所在市町別の状況

区 分	団体数
広島市	34 団体
広島市以外*	6 団体
計	40 団体

※竹原市，府中市，東広島市，廿日市市，府中町，坂町（各1団体）

##### ③ 登録団体の利用状況

区 分	件数
職場等における女性活躍の支援 ・キャリアアップ支援 等	53 件
家庭における男女共同参画の促進 ・子育て支援 等	40 件
地域社会活動における男女共同参画の促進 ・地域における女性活動の支援 等	24 件
その他 ・ひとり親支援，健康支援 等	38 件
計	155 件

## (5) 施設利用の評価

利用者数は、目標の2万人を達成できた。また、それ以外にも、外部施設を利用した財団の主催事業について5千人弱の利用があった。

しかしながら、男女共同参画の拠点として、立地環境の優位性を活かすことで、全体的に更なる利用拡大を図る余地があり、次の点に取り組む必要があると考えられる。

- ①平日夜間については、実態として、働く女性を対象とした異業種交流会や勉強会等の利用があり、さらに拡大する余地があると考えられるので、そういった利用を促進することにより、研修室等の稼働率を引き上げること
- ②研修室1室（定員50人）当りの平均利用人数（15.8人）を引き上げること
- ③財団と共催事業や情報発信等で連携して取組みを行っていく登録団体の数を増やしていくこと

## (6) 今後の取組

新型コロナウイルスによる新しい生活様式に対応しつつ、次の取組によって、利用拡大を図っていく。

- ①平日夜間の利用については、働く女性を対象とした異業種交流会や勉強会等の目的での利用をさらに拡大していくよう利用促進活動を行い、研修室全体の稼働率を35%から60%に引き上げることを目指す。
- ②役員会や打ち合わせ等の少人数利用については、交流スペースに誘導するなどして、全体の稼働率を引き上げる。
- ③財団と連携して取組みを行っていく登録団体数を100団体とすることを目標に、未登録の団体へ積極的に働きかけを行っていくとともに、そういった団体を通じて、利用の周知を図り、利用拡大につなげていく。

以上のような施設の稼働を向上させる取組みを推進していくことにより、令和4年度の年間利用者目標の3万人の達成を目指していく。

また、財団が主催する研修や講座は、エソール広島での集合研修とWeb配信（Zoom, YouTube）を併用した方式を導入するなど、エソール広島の施設以外での活動の活性化も図っていき、県内全域の男女共同参画の施設としての拠点性を高めていく。

## 2 男女共同参画に関する事業の実施状況

エソール広島は、男女がその個性と能力を十分に発揮し、職場や地域、家庭などの社会のあらゆる分野において共に参画していくために必要な事業を展開しており、具体的には、男女共同参画に関する研修・交流事業の企画実施や、相談事業、情報の収集及び提供等を実施した。

### (1) 研修・交流事業の企画実施

#### ① 職場等における女性活躍の支援

- ・働く女性や子育て中の女性，これから社会人となる学生などが，多様な生き方や働き方について考えるためのきっかけづくりを目的とした講座や交流会
- ・働く女性のキャリアアップ支援研修やネットワーク交流会などの共催事業

区 分	事業数 (回数)	参加者数 (人)
財団主催事業	33	1,644
└ (うち企業等からの受託)	(22)	(1,406)
共催事業	29	1,928
計	62	3,572

※ 個別の事業の詳細については別紙のとおり (以下、②～④において同じ。)

#### ② 家庭における男女共同参画の促進

- ・働く女性が増えていく中で，家族全員で家事に興味を抱き，協力して家事をシェアしやすくする工夫などを学ぶことにより，家事参画への促進を図ることを目的とした講座
- ・働くことを希望する，子育て中の女性などが再就職するための支援を目的とした共催事業

区 分	事業数 (回数)	参加者数 (人)
財団主催事業	8	172
└ (うち企業等からの受託)	(1)	(12)
共催事業	21	303
計	29	475

#### ③ 地域社会活動における支援

- ・男女共同参画の視点を持ち，地域における様々な課題解決に向けて活動できる人材育成を目的とした研修 (令和元年度は，女性目線で考える地域の防災活動をテーマに設定)
- ・SDGs に掲げられている目標に関して理解を深めるための連続セミナーなどの共催事業

区 分	事業数 (回数)	参加者数 (人)
財団主催事業	4	174
└ (うち企業等からの受託)	(2)	(138)
共催事業	5	555
計	9	729



#### ④ その他の男女共同参画の推進

- ・生活上の困りごとや悩みごとを抱えている方々に対応する相談員を育成するための研修
- ・女性に対する暴力やLGBTなど性的マイノリティの方々への理解を深め、様々な困難や生きづらさを抱えている方々の解消につながるような講座や共催事業

区 分	事業数（回数）	参加者数（人）
財団主催事業	29	2,267
（うち企業等からの受託）	（14）	（1,663）
共催事業	12	937
計	41	3,204

#### ⑤ 事業の評価

財団が主催する研修事業や交流事業の参加者アンケート結果では、満足度は概ね9割を超えているものの、一方で一部の事業は定員に満たないものもあるため、エソール広島を利用している団体の活動内容や相談事業の分析等によって、ニーズに合致したテーマを選定するとともに、ターゲットや事業の狙いを明確にして取り組む余地があると考えている。

また、財団の事業の実施時期が下半期に偏り、全体事業量が減少したことから、通年での事業の平準化を行う必要があると考えている。

さらに、共催事業についても、他団体が企画したものを実施段階から連携するものが多く、企画段階から連携・協力して実施する事業を増やしていく必要があると考えている。

#### ⑥ 今後の取組

今後は、新型コロナウイルスでエソール広島の相談件数が増加したDVに関する啓発や研修など、社会情勢の変化を踏まえ、ニーズに合致したテーマを選定していく。

また、計画的に事業に取り組むことにより、通年での事業の平準化を行い、全体事業量を確保する。

さらに、共催事業については、エソール広島の利用団体等と企画段階から連携して取り組むことで、ノウハウを吸収するとともに、関係団体とのネットワークを広げていく。

#### ⑦ ICTを活用した遠隔配信

##### ア 双方向の遠隔講義の試験的实施

ICTを活用してエソール広島と他会場を繋ぐ双方向の遠隔講義を試験的に実施した。

結果として、次の意見のとおり、音声不良やカメラの位置等機器の調整上の課題や、効果的なグループワークのための運営上の改善点などが明らかになったことから、これらを解消し本格実施に移行する必要がある。

### 【対象講座の概要】

- ・ジェンダーをテーマにした講座（講義とグループワークの併用形式）
- ・エソール広島から東広島会場（東広島芸術文化ホールくらら）へ配信
- ・遠隔地の東広島会場では、「広島市まで行かなくても地元で受講できて良かった。」「リラックスして聞けた（子どもがいても講師に気を使わず済んだ。）」といった意見の反面、「音声がかもって聞きづらい。」「スライドとホワイトボードの文字が見にくい。」「グループワークでは誰か仕切ってくれる人がいないと難しいと感じた。」といった運営面での課題を指摘する意見もあった。

### イ 個々の受講希望者への遠隔配信の取組

新型コロナウイルスによる新しい生活様式を踏まえると、ICTを活用してエソール広島と他会場を繋ぐ双方向の遠隔講義を実施する方式だけでなく、ZoomやYouTube等を活用して個々の受講希望者に直接届けるといった方式を導入するなど、中山間地域をはじめ県内全域において受講機会を確保できるよう、一層注力していく。

## （２）相談事業

### ① 一般相談

家族や職場における人間関係などに関する悩みに対して、電話相談は週5日（水曜日、日曜日、休日以外の日）実施し、その中でも複雑な悩みを抱えた案件などについては、面接相談（原則として毎週金曜日）に移行している。電話相談と面接相談を合わせると、年間、延べ約2千件の相談が寄せられている。

### ア 相談件数

電話相談	面接相談	計
1,858 件	131 件	1,989 件

### イ 相談内容等

複合的な要素を含んでいる傾向が高いが、主な分野で区分すると、夫婦関係に関する悩みや子育てに関する不安、職場や地域での対人関係の悩みなどが全体の約7割を占め、家族を含めた人間関係に関する相談が多くなっている。

また、年齢別には20代から80代までの各年齢層から幅広く相談を受け付けている。

(ア) 相談の内容

相談内容	件数
家族（夫婦，子ども，親等）に関すること （離婚，夫婦間のDV，子どもの教育，親の世話など）	863件 (43.4%)
男女間や職場の人間関係など対人に関すること （男女・隣人・友人・職場等対人関係におけるトラブルなど）	504件 (25.3%)
健康，孤独などの人生における不安や悩みに関すること （病気を抱える辛さや不安，今後の生き方など）	542件 (27.3%)
その他 （法律や福祉など様々な情報の収集など）	80件 (4.0%)
計	1,989件 (100.0%)

(イ) 相談者の年代

20歳代以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上	不明	計
56件 (2.8%)	198件 (10.0%)	463件 (23.3%)	540件 (27.1%)	436件 (21.9%)	265件 (13.3%)	31件 (1.6%)	1,989件 (100.0%)

ウ 専門機関との連携

喫緊に対応する必要がある深刻な内容の相談については，事案に応じて，警察や病院などの専門機関につないでいる。

専門機関	件数	主な事例
警察	11件	ストーカー，DVなど
病院	12件	ストレスによる心身の不調など
行政機関（こども家庭センター，性被害ワストップセンター等）	20件	DV，性被害など
弁護士，家庭裁判所等	30件	離婚，相続など
計	73件	

② LGBT相談

LGBT相談は平成29年10月から開設しており，開設当初は月1回の実施であったが，平成30年6月からは毎週土曜日を相談日として窓口を開いている。

相談者を年齢別にみると，一般相談と比較して若年層からの相談の割合が高くなっている。

ア 相談件数

	LGBT相談（電話）
相談件数	172件

## イ 相談者の年代

10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	不明	計
3件 (1.8%)	21件 (12.2%)	82件 (47.7%)	15件 (8.7%)	10件 (5.8%)	35件 (20.3%)	6件 (3.5%)	172件 (100.0%)

## ウ 専門機関との連携

専門機関	件数	主な事例
病院	9件	性転換に関する悩み
行政機関（労働局等）	2件	職場でのハラスメント
計	11件	

## ③ 事業の評価

エソール広島に寄せられる一般相談（電話・面接）は年間約2千件であり、相談日数で単純平均すると、電話相談は1日平均7～8件、面接相談は1日平均2～3件受け付けている。直接、専門機関に連絡することにためらいを感じている方や、どこに相談すればよいか分からないといった方々の最初の公的な相談窓口として、高いニーズがあると考えている。また、年間70件以上、警察やこども家庭センターなどの専門機関につないでおり、ストーカーやDVなどの喫緊に対応する必要がある深刻な内容の相談を受け付ける重要な役割を担っていると評価している。

LGBT相談については、令和元年度時点では県内唯一の公的な機関の相談窓口であり、相談件数も平成30年度の90件から約倍の172件に増加している。相談日数で単純平均すると、1日平均3～4件受け付けており、性的志向や性自認に違和感がある方等の相談窓口として重要な役割を担っていると評価している。

## ④ 今後の取組

相談事業は、現在の社会状況を背景として、様々な困難を抱えている人の直接の声が届くことから、今後は、専門家などの意見を聞いて相談内容を分析し、必要に応じて関係機関等と連携しながら、現在エソール広島が実施している男女共同参画に関する講座やLGBT研修などの事業に反映させていく。

## (3) 情報の収集及び提供

### ① ホームページ等を活用した情報発信

男女共同参画に係る情報をホームページやSNS等のツールを用いて県民に向けて発信している。

具体的には、内閣府の定める男女共同参画週間などの啓発週間の周知や、「女性の政治参画マップ」等の男女共同参画の統計的な情報の提供を行っている。

また、財団が主催する研修やその他イベント情報についても適宜発信している。

## ② 文献情報等の収集及び提供

男女共同参画に関する認識を深める目的で、関連する図書や行政情報などを3,300冊強保有し、館内閲覧及び貸出を行っている。また、新規書籍を追加した場合は、ホームページ等を活用し、図書の利用促進に向けた取組を行っている。

区 分		保有数	貸出数
一般図書	女性問題に関する図書，女性の活動を支援する図書	2,915 冊	936 冊
行政資料	国・都道府県作成の男女共同参画に関する調査・統計・報告書等	400 冊	(館内閲覧)
DVD	女性の生き方を考える国内外の映画・ドキュメンタリー等	29 本	1 本

## ③ 事業の評価

内閣府の定める啓発週間に係る周知，統計的な情報の提供を行うとともに，広島県の女性活躍関係情報の周知等にも取り組んでいる。しかし，国や県からの情報に係る発信件数はフェイスブックでは10件程度にとどまるなど，発信件数が少なく，十分な情報発信を行っているとはいえない。

また，エソール広島の拠点性を向上させるためには，男女共同参画に係る取組が一層効果的なものになるよう，男女共同参画に関する活動を行っている団体・個人間の交流を促進させることが重要である。各種団体の情報を財団が把握して提供できるようデータを整備する必要がある。

## ④ 今後の取組

内閣府や県の発信する各種統計情報をホームページやSNS等に掲載し，県民への継続的な情報提供を実施していくなど，男女共同参画の促進に資する情報発信の内容を充実させていく。

また，男女共同参画に関する活動を行っている団体情報や人材情報をデータベース化し，他の団体等に紹介するなどして，これらの団体等の活動の活発化を図る。

## 3 県としての検証の総括について

エソール広島の利用については，様々な団体や個人による講座・研修，または，交流会や会議等での利用が徐々に増加傾向にあるものの，本県の男女共同参画の活動拠点となるよう，さらなる利用拡大を図っていく必要がある。また，財団が実施する研修や交流事業，相談，情報収集・提供等の事業について，社会情勢の変化等を捉えながら内容を充実させていく必要がある。

県としても，社会における活動や個人の生き方が多様化する中で，本県の男女共同参画の拠点機能の更なる発揮という観点から，引き続き支援を行うとともに，毎年度，施設の利用状況や事業の実施状況等を検証していく必要があると考えている。



## 1 研修・交流事業

## (1) 職場等における女性活躍の支援のための主な事業

## ①財団主催事業

エソール きらめき トークラ イブ	目的	社会の様々な分野で活躍している女性をゲストスピーカーに迎えて、自身のマイストーリーを語ってもらい、参加者が自身の働き方・生き方について考える。
	対象	女性
	参加者数	238人
	内容	起業家等を講師とした交流イベント（11回実施）
	受講生の評価	アンケート調査結果 満足度：97.7% 受講者の声：「自分についてあまり考えることができていないと痛感した」、「仕事と家事・育児の両立の考え方、子どもとの関わり方が参考になった」 その他：30～40歳代の参加者が全体の77%

## ②企業等からの受託研修事業

内容	委託者（数）	回数	参加者
コミュニケーションスキルの向上	企業等（4）	12回	785人
アンガーマネジメント	行政（2）	2回	105人
ハラスメント防止	企業等（3）、行政（1）	6回	451人
働きかたや職業に関すること	高校（2）	2回	65人
計	企業等（7）、行政（3）、高校（2）	22回	1,406人

## ③共催事業

内容	主催者（数）	回数	参加者
女性活躍支援	企業等（3）、行政（1）	4回	153人
リーダーシップ養成	行政（2）	2回	182人
キャリアプランニング	行政（2）	2回	194人
女性管理職登用促進	行政（5）	5回	434人
メンター養成	行政（4）	4回	406人
働く女性同士の交流	行政（11）	11回	501人
女性起業家支援	行政（1）	1回	58人
計	企業等（3）、行政（26）	29回	1,928人

## (2) 家庭における男女共同参画の促進のための主な事業

### ①財団主催事業

男子に贈る家事の極意	目的	男性が家事に興味を抱き協力して家事をしやすくするための工夫などを学ぶことにより，家事参画への促進を図る。
	対象	男性がメインターゲット
	参加者数	78人
	内容	男性が楽しみながら家事をしたくなるようなテーマでの講義と料理実演（5回実施）
	受講生の評価	アンケート調査結果 満足度：92.9% 受講者の声：「家事や料理でクリエイティビティという言葉が出て驚いた」，「ハードルが高いと感じていたが意外と簡単でよいのだと思えた」
親子お片付けセミナー	目的	家族で家事分担し，女性の家事に対する負担軽減を図る。
	対象	親子
	参加者数	80人
	内容	片付けをテーマにした体験型のセミナー（2回実施）
	受講生の評価	アンケート調査結果 満足度：95.8% 受講者の声：「子どもへの声掛けの仕方を工夫してみようと思った」，「親子で楽しく片付けしていきたいと前向きな気持ちになった」，「片付けの仕組み作りの流れが参考になり，親も一緒に取り組むことが大事だと分かった」

### ②企業等からの受託研修事業

内容	委託者（数）	回数	参加者
ライフプランの設定	行政（1）	1回	12人

### ③共催事業

内容	主催者（数）	回数	参加者
子育て中の女性等が再就職するための支援	行政（21）	21回	303人



### (3) 地域社会活動における支援のための主な事業

#### ①財団主催事業

エソール ひろしま 大学（防 災講座）	目的	過去の災害で明らかになった様々な課題に対応するため、地域防災活動において、男女共同参画の視点を持って企画・方針決定の過程や運営に参画できる人材を育成する。
	対象	全般
	参加者数	18人
	内容	避難所運営や女性の視点での身を守る方法を学び、それらのノウハウを身につける講座（3回連続講座） ※第2回・第3回の講座は、新型コロナウイルスの蔓延防止のため延期
	評価	全過程終了後にアンケート調査実施予定

#### ②企業等からの受託研修事業

内容	委託者（数）	回数	参加者
男女共同参画のまちづくり	企業等（2）	2回	138人

#### ③共催事業

内容	主催者（数）	回数	参加者
防災に関する意識啓発	企業等（1）	1回	80人
SDGsの目標に関する理解促進	企業等（4）	4回	475人
計	企業等（5）	5回	555人

### (4) その他の男女共同参画の推進

#### ①財団主催事業

メンタル サポーター 養成講 座	目的	複雑多様化する相談に対応するために、男女共同参画の視点を持った相談員を養成する。
	対象	相談業務や対人援助に携わっている方 （企業7、NPO法人4、病院3、公的機関6、民間機関2、個人活動4）
	参加者数	28人
	内容	家族の変容、子どもの諸問題、DVと児童虐待等をテーマにした講座と演習（7回連続講座） ※第7回の講座は、新型コロナウイルスの蔓延防止のため延期
	評価	全過程終了後にアンケート調査実施予定
LGBT 研修会・ 講演会	目的	LGBTの相談対応等に当たる担当者や管理者等のスキル習得を図る。また、地域や職場等において実施する啓発・広報・相談対応のスキル習得を図る。
	対象	学校や行政機関等でLGBT相談に対応する方 地域や職場等で人権啓発活動に携わる方
	参加者数	研修会184人、講演会174人
	内容	LGBTの相談対応者のスキル習得の講座とグループワーク 地域や職場等で実施する啓発・広報・相談対応のスキル習得の講座

		研修会：県内4か所で5回実施 講演会：県内2か所で5回実施
	受講生の評価	アンケート調査結果 満足度：満足度 98.7% 受講者の声：「直面する困難の具体例を知り LGBT の方の生きづらさが理解でき苦しくなった」、「周囲の理解と認識が大切だと感じた」、「学んだことを地域等に還元していきたい」など、正しく理解すること、周りへの理解を深めることの必要性を感じた声が多かった。

## ②企業等からの受託研修事業

内容	委託者（数）	回数	参加者
LGBTの理解促進	企業等(1), 行政(2), 高校(2),	7回	1,286人
その他（ダイバーシティ, 人権, DV等）	企業等(2), 行政(4), 高校(1)	7回	377人
計	企業等(3), 行政(6), 高校(3)	14回	1,663人

## ③共催事業

内容	主催者（数）	回数	参加者
女性の健康問題と対策	企業等（7）	7回	179人
親の介護問題	企業等（1）	1回	430人
女性の権利に係る法律相談	企業等（2）	2回	48人
被爆体験の継承問題	企業等（1）	1回	180人
青少年問題への対策	企業等（1）	1回	100人
計	企業等（12）	12回	937人

## （5）ICTを活用した双方向遠隔講座の試験的实施

講座	男女共同参画公開講座（テーマ：ジェンダーについて）
目的	ジェンダーとは何かを分かりやすく伝え、友人、恋人との関係に視点を置いて考える。（講義とグループワークの併用形式）
対象	10～20歳代，教育関係者
会場	広島会場（エソール広島） 東広島会場（東広島芸術文化ホールくらら 遠隔システムで配信）
参加者数	広島会場：17人 東広島会場：14人
受講生の評価	アンケート調査結果 満足度：広島会場 92.9%，東広島会場 35.7% 受講者の声：（東広島会場での遠隔講義に関するもの） 「広島市に行かなくても地元で受講できるので良かった。」、「リラックスして聞くことができる」、「子どもがいても講師に気をつかわなくて済む」、「テレビ会議やSkype等を普段から利用する者としては、受講環境は想定していた範囲内」、 「運用や環境整備で改善できる点もあるので、次回を期待」、「グループワークは難しいと感じた」

## 2 情報発信事業

### (1) ホームページ等

ホームページ	<p>アクセス件数：103,898件          アクセスの多いページ（HOMEを除く）</p> <p>①施設案内・予約（8,092件） ②相談したい方（5,826件）          ③講座情報（4,243件） ④エソール広島の概要（3,129件）          ⑤交流スペース・研修室の予約状況（2,554件）          ⑥エソールきらめきトークライブ（2,139件）          ⑦交流スペース・研修室の利用（2,005件）          ⑧LGBT研修会（1,936件） ⑨メンタルサポーター養成講座（1,573件）</p>
フェイスブック	<p>投稿回数：140回（情報数145件）          フォロワー数：422人          主な配信内容：①研修・イベント情報（財団主催）（94件） ②施設情報（21件）          ③図書紹介（10件） ④国・県情報（10件） ⑤コロナ対策（4件）</p>
メールマガジン	<p>配信回数：23回（情報数95件）          登録者数：976人          主な配信内容：①研修・イベント情報（財団主催）（36件）          ②イベント情報（共催事業）（21件） ③県からの情報（15件）          ④図書の紹介（10件） ⑤施設情報（7件）</p>

### (2) 文献情報等

区 分		保有数	貸出数
一般図書	女性問題に関する図書，女性の活動を支援する図書	2,915冊	936冊
行政資料	国・都道府県作成の男女共同参画に関する調査・統計・報告書等	400冊	(館内閲覧)
DVD	女性の生き方を考える国内外の映画・ドキュメンタリー等	29本	1本